

Let's go to the 大森勝山!!

ストーンサークル
(環状列石)

環状列石とはストーンサークルの誤語。日本では縄文時代中期から晩期にかけてつくられ北海道から東北地方に多く分布する。大森勝山の環状列石は77組の石の組を使い安山岩、流紋岩、花崗岩を使っている。大森勝山の環状列石は、約3000年前の石を使っており、そこが一番の魅力。石の特徴は安山岩を1200個使ってあり、他に流紋岩と花崗岩も使っており、その岩は鱒ヶ沢から持ってきた。



三内丸山遺跡と
大森勝山遺跡の違い

大森勝山遺跡

・ 縦穴住居とは屋根に土をかぶせていて、火を焚かせ虫よけしたり湿度を下げて暮らしている。夏になると外気温より10℃下がるので暑さをしのげる。

・ 環状列石は直径30〜40メートルの隅丸方形に配石した遺構である。一番外側に二重三重に川原石を環に並べた外帯と多くの場合その中心に内帯がある。

三内丸山遺跡

・ 大型掘立柱建物
・ 地面に穴を掘り、柱を立てて直径約2m深さ約2mの間隔が42m中に直径約1mの栗柱で長方形の大型高床建物と考えられている。



提案 (アイディア)

アイス

土器土器ヒヤヒヤ
大盛りナツ山アイス



公園 名大森パーク



遊園地 名勝山ランド

